

## 入札説明書

独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部の「平成29年度東日本都市再生本部に係る不動産市場動向等調査業務」に係る掲示に基づく入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

なお、本件は、競争参加資格確認申請書（以下「申請書という。」）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の業務である。

### 1 入札公告の掲示日

平成29年5月10日

### 2 発注者

独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部 本部長 田中 伸和  
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号

### 3 業務概要

#### (1) 業務名

平成29年度東日本都市再生本部に係る不動産市場動向等調査業務

#### (2) 業務内容

主な業務内容は以下のとおりである。

- ①東京都心部等における地価動向、各種賃料動向、各種床価格動向、投資不動産市場動向、建築費等の現状分析及び将来予測に係る定期的な調査（上期・下期）
- ②東京都心部等の特定エリアにおける地価水準・動向、各種用途賃料水準・動向、各種用途床価格水準・動向の現状分析及び将来予測に係る定期的な調査（上期・下期）
- ③不動産市場動向等の基礎知識等に係る資料作成
- ④上記③の資料に係る機構職員向け説明会の実施（上期）
- ⑤上記①及び②の調査結果に係る機構職員向け報告会の実施（上期・下期）
- ⑥上記①及び②の調査結果の内、別途機構が指定する特定エリア（1～2エリア）の調査結果に係る機構職員との意見交換会（上期・下期）

#### 【評価テーマ】

不動産市場の分析、将来予測等を実施するに当たり、マクロ・ミクロ的観点から留意すべき事項と、用いるデータ、調査手法（データ収集方法を含む）を提案してください。

- (3) 業務の詳細な説明  
別添－1「平成29年度東日本都市再生本部に係る不動産市場動向等調査業務仕様書」（以下「仕様書」という。）のとおり。
- (4) 成果品  
成果品は、仕様書のとおりとする。
- (5) 履行期間  
契約締結日の翌日から平成30年3月16日（金）まで
- (6) 履行場所  
東京都内

#### 4 競争参加資格

- (1) 次の①から⑥に掲げる資格を満たしている単体企業であること。
  - ①契約を締結する能力を有しない者又は破産者で復権を得ていない者ではないこと。
  - ②一定の不誠実な行為により当機構から取引停止措置を受け、その後2年間を経過していない者ではないこと。
  - ③当機構東日本地区における平成29・30年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務に係る一般競争（指名競争）参加資格を有している者で、業種区分「調査」に係る競争参加資格の認定を受けていること。
  - ④申請書及び資料の提出期限の日から開札の時までの期間に、当機構から本件業務の履行場所を含む区域を措置対象区域とする指名停止を受けていないこと。
  - ⑤暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する者若しくはこれに準ずる者でないこと。（詳細は、当機構ホームページ→入札・契約情報→入札心得・契約関係規程→入札関連様式及び標準契約書等→標準契約書等について→「別紙 暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者」を参照）
  - ⑥不動産の鑑定評価に関する法律（昭和38年7月16日法律第152号）第22条第1項に基づく登録を受けている不動産鑑定業者であって、過去3年以内に同法に基づく監督処分を受けていない者
- (2) 平成19年度以降に受注し、完了した、以下のいずれかの業務の実績（下請けによる業務の実績を含む。）を有すること。
  - A：都内の複数エリアにおけるエリアごとのオフィス又は分譲マンションに関する不動産市場の調査業務（以下「A業務」という。）
  - B：都内の複数エリアにおけるエリアごとの地価動向に関する調査業務（以下「B業務」という。）
- (3) 次に掲げる基準を満たす予定管理技術者を当該業務に配置できること。
  - ①不動産の鑑定評価に関する法律第15条に基づいて登録を受けた不動産鑑定士で、かつ不動産鑑定士（不動産鑑定士補の期間を含む）としての実務

- 経験を10年以上有する者であること。
- ②平成19年度以降に、上記(2) A業務又はB業務の経験を有する者であること。
- ③申請書及び資料の提出期限日時点において、当該企業と雇用関係があること。
- (4) 上記(1)から(3)に定めるものの他、揭示文及び入札説明書等に定める事項に違反する者でないこと。

## 5 総合評価に係る事項

### (1) 総合評価の方法

- 1) 技術提案書の内容に応じて下記①、②、③、④、⑤の評価項目毎に評価を行ない、技術評価点を与える。

なお、技術評価点の最高得点は60点とする。

- ①企業の経験及び能力
- ②予定管理技術者の経験及び能力
- ③実施方針
- ④評価テーマに関する技術提案
- ⑤技術提案の履行確実性

技術評価点 = (技術評価点の最高点数 = 60) × (技術点 / 技術点の満点)

技術点 = (①、②に係る評価点) + (技術提案評価点) × (⑤の評価に基づく履行確実度)

技術提案評価点 = (③に係る評価点) + (④に係る評価点)

- 2) 価格評価点の評価方法は、以下のとおりとする。

なお、価格点は30点とする。

価格評価点 = 価格点 × (1 - 入札価格 / 予定価格)

- 3) 総合評価は、入札者の申し込みに係る上記①、②、③、④、⑤により得られた技術評価点と入札者の入札価格から求められる価格評価点の合計値(以下、「評価値」という。)をもって行う。

### (2) 落札者の決定方法

入札参加者は「価格」と「予定管理技術者の経験及び能力」、「実施方針」及び「評価テーマに関する技術提案」をもって入札を行い、入札価格が当機構であらかじめ作成した予定価格の制限の範囲内である者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件を全て満たした他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

なお、評価値の最も高い者が2者以上あるときは、くじ引きにより落札者

となるべき者を決定する。

(3) 技術点を算出するための基準

申請書及び資料の内容について、以下の評価項目についてそれぞれ評価を行い、技術点を算出する。

評価項目	評価の着目点		評価ウエイト
	判断基準		
基本事項評価	申請者（企業）の経験及び能力	<p>業務実績</p> <p>（様式－2） 平成19年度以降に受注し完了した業務を下記の順位で評価する。</p> <p>① A業務のうち、オフィス市場に関する業務、及び分譲マンション市場に関する業務の実績がそれぞれ1件あり、かつ、B業務の実績が1件ある。</p> <p>② A業務の実績が1件、及びB業務の実績が1件ある。</p> <p>③ A業務の実績が1件、又はB業務の実績が1件ある。</p> <p>※業務の定義は上記4（2）を参照 なお、A業務又はB業務の実績がいずれも無い場合は欠格とする。</p> <p>A業務のうち、オフィス市場に関する業務、及び分譲マンション市場に関する業務、並びにB業務については、同一業務で実績を兼ねることはできない。 記載する業務は3件までとし、1件につき1枚以内に記載する。</p> <p>ただし、前年度に完了した業務のうち、独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部における企業の成績評定結果が60点未満の業務があった場合は①、②に該当する実績があったとしても評価は③の0点を上限とする。</p>	<p>① 10</p> <p>② 5</p> <p>③ 0</p>
	の経験及び能力	<p>技術者資格</p> <p>（様式－3） 不動産の鑑定評価に関する法律第15条に基づいて登録を受けた不動産鑑定士で、かつ不動産鑑定士（不動産鑑定士補の期間を含む）としての実務経験を10年以上有する者。 なお、上記以外の場合は欠格とする。</p>	<p>数値化しない</p>

		業務実績	<p>(様式-4)</p> <p>平成19年度以降に経験したA業務又はB業務の実績を下記の順位で評価する。</p> <p>① A業務のうち、オフィス市場に関する業務、及び分譲マンション市場に関する業務の実績がそれぞれ1件あり、かつ、B業務の実績が1件ある。</p> <p>② A業務の実績が1件、及びB業務の実績が1件ある。</p> <p>③ A業務の実績が1件、又はB業務の実績が1件ある。</p> <p>※業務の定義は上記4(2)を参照</p> <p>なお、A業務又はB業務の実績がいずれも無い場合は欠格とする。</p> <p>A業務のうち、オフィス市場に関する業務、及び分譲マンション市場に関する業務、並びにB業務については、同一業務で実績を兼ねることはできない。</p> <p>記載する業務は3件までとし、1件につき1枚以内に記載する。</p>	<p>① 10</p> <p>② 5</p> <p>③ 0</p>
技術提案書	実施方針	業務理解度	<p>(様式-5-1)</p> <p>業務の目的、条件、内容の理解度が高く、業務実施上の配慮事項に関する的確に把握されている場合に優位に評価する。</p>	10
		実施体制	<p>(様式-5-1)及び(様式-5-2)</p> <p>配置技術者の経験、資格、人数、協力体制など業務を遂行するうえでの確かな体制が確保されている場合に優位に評価する。</p>	10
	評価テーマ	<p>(様式-6)</p> <p>技術提案について、的確性(与条件との整合性がとれているか等)、実現性(提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等)及び実現手法を考慮して総合的に評価する。</p> <p>評価テーマ：上記3(2)業務内容参照</p>	20	
技術点 合計				60

#### (4) 積算基準

本件業務に係る積算基準については、別添-2のとおり。

## 6 担当支社等

### (1) 申請書及び資料について

〒163-1313

東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー13階

独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部

事業管理部 アセット業務課

電話03-5323-0643

- (2) 平成29・30年度の競争参加資格について

〒163-1313

東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー13階

独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 総務部 経理課

電話03-5323-0469

## 7 競争参加資格の確認

- (1) 本件競争の参加希望者は、上記4に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に従い、申請書及び資料を提出し、東日本都市再生本部長（以下「本部長」という。）から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

上記4(1)③の認定を受けていない者も次に従い申請書及び資料を提出することができる。この場合において、上記4(1)①、②、④、⑤、⑥、及び(2)から(4)までに掲げる事項を満たしているときは、申請書等提出時に「一般競争（指名競争）参加資格審査申請書（測量・建設コンサルタント等）」を併せて提出することを条件として競争参加資格があることを確認するものとする。当該確認を受けた者が競争に参加するためには、開札の時において上記4(1)③に掲げる事項を満たしていなければならない。

なお、期限までに申請書及び資料を提出しない者並びに競争参加資格がないと認められた者は、本競争に参加することができない。

- ① 提出期間： 平成29年5月11日（木）から平成29年5月30日（火）までの土曜日、日曜日を除く毎日、午前10時から午後5時まで（ただし正午から午後1時の間は除く）
- ② 提出場所： 上記6(1)に同じ
- ③ 提出方法： あらかじめ提出日時を連絡の上、内容を説明できる者が持参するものとし、郵送又は電送によるものは受け付けない。

- (2) 申請書は、様式-1により作成すること。

- (3) 資料は、次に従い作成すること。

なお、下記②及び③のA業務又はB業務の実績については、平成18年度以降に、業務が完了し、引渡しが進んでいるものに限り記載すること。

### ① 登録状況

当機構東日本地区における平成29・30年度建設コンサルタント等業務の業種区分「調査」に係る競争参加資格の認定を受けていることが確認できる資料を添付すること。ただし、申請書及び資料の提出期限の日に認定を受けていない場合については、開札の時までに認定を受けていることを条件として、競争参加資格があることを確認するものとする。

また、不動産の鑑定評価に関する法律（昭和38年7月16日法律第152号）第22条第1項に基づく登録を受けていることが確認できる資料を添付する

こと（登録を受けている都道府県知事等が発行する登録証明書等）。

② 企業の経験及び能力

平成19年度以降に受注し、完了した、A業務又はB業務の実績について様式-2に記載すること。

③ 予定管理技術者の経験及び能力

予定管理技術者の資格及び平成19年度以降のA業務又はB業務の実績について、様式-3及び様式-4に記載すること。

④ 実施方針

業務の理解度及び実施体制について、様式-5-1に記載すること。また、実施体制に係る技術者の資格、経験等について様式-5-2に記載すること。

⑤ 評価テーマに関する技術提案

評価テーマに関する技術提案について、様式-6に記載すること。記載にあたっては、1テーマにつきA4判1枚とする。

⑥ 契約書（仕様書を含む）の写し

上記②及び③のA業務又はB業務の実績として記載した業務に係る契約書（仕様書を含む）の写しを提出すること。ただし、当該業務が一般財団法人日本建設情報総合センターの「測量調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）」に登録されている場合は、契約書の写しを提出する必要はない。

なお、下請、出向又は派遣による業務の実績については、当該業務がA業務又はB業務と判断できる根拠資料も併せて提出すること。

(4) 競争参加資格の確認は、申請書及び資料の提出期限の日をもって行うものとし、その結果は平成29年6月14日（水）に通知（発送）する。

(5) その他

① 申請書及び資料の作成及び提出に係る費用及び、履行確実性の審査のための追加資料の作成及びヒアリングに関する費用は、提出者の負担とする。

② 提出された申請書及び資料は、返却しない。

③ 本部長は、提出された申請書及び資料を、入札参加者の選定以外に提出者に無断で使用しない。なお、資料を公開する場合には、事前に提出者の同意を得るものとする。

④ 提出期限以降における申請書及び資料の差替え及び再提出は認めない。

## 8 苦情申立て

(1) 競争参加資格がないと認められた者は、本部長に対して競争参加資格がないと認められた理由について、次に従い書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

① 提出期限： 平成29年6月21日（水）午後5時

② 提出場所： 上記6（2）に同じ

③ 提出方法： 書面は持参することにより提出するものとし、郵送又は電送によるものは受け付けない。

(2) 本部長は、説明を求められたときは、平成29年6月28日（水）までに説明



を求めた者に対し書面により回答する。

ただし、一時期に苦情件数が集中する等合理的な理由があるときは、回答期間を延長することがある。

- (3) 本部長は、申立期間の徒過その他客観的かつ明らかに申立ての適格を欠くと認められるときは、その申立てを却下する。
- (4) 本部長は、上記(2)の回答を行ったときには、苦情申立者の提出した書面及び回答を行った書面を閲覧による方法により遅滞なく公表する。

## 9 入札説明書に対する質問

- (1) この入札説明書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出すること。

- ① 提出期限： 平成29年6月15日（木）午後5時
- ② 提出場所： 上記6(1)に同じ
- ③ 提出方法： 提出場所への持参又は同日同時刻必着での書留郵便による郵送とする。電送によるものは受け付けない。

- (2) 上記(1)の質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供する。

- ① 閲覧期間： 平成29年6月26日（月）から平成29年6月28日（水）までの毎日、午前10時から午後5時まで（ただし正午から午後1時の間は除く）
- ② 閲覧場所： 上記6(1)に同じ

## 10 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

日 時： 平成29年6月29日（木）午前10時（予定）

場 所： 〒163-1382 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号

新宿アイランドタワー19階

独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部 入札室

連絡先  
東日本賃貸住宅本部 総務部 首都圏入札課  
電話03-5323-4782

提出方法： 同日同時刻の持参又は前日まで必着での書留郵便による郵送とする。  
電送によるものは受け付けない。

郵送による場合、前日までに到着しないものは無効とする。

## 11 入札方法等

- (1) 入札書は、上記時刻の持参又は前日まで必着での書留郵便による郵送とする。
- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、

見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

- (3) 落札者がいないときは、ただちに再度の入札を行うものとする。
- (4) 入札執行回数は、原則として2回を限度とする。
- (5) 本件業務において、入札に参加する者が関係法人1者だった場合は、当該手続きを中止し、再公募を実施する。

## 12 入札保証金及び契約保証金 免除

## 13 開札

入札者又はその代理人は開札に立ち会うこと。入札者又はその代理人が開札に立ち会わない場合においては、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて開札を行う。

なお、入札参加者が第1回目の開札に立ち会わない場合でも、当該入札参加者の入札は有効として取り扱うが、再度の入札を行うこととなった場合には、再度の入札を辞退したものとして取り扱う。

## 14 入札の無効

本掲示において示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札心得書において示した条件等入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。

なお、本部長により競争参加資格のある旨確認された者であっても、開札の時に上記4に掲げる資格のないものは、競争参加資格のない者に該当する。

## 15 落札者の決定方法

上記5(2)による。

## 16 手続における交渉の有無 無

## 17 契約書作成の要否

業務請負契約書（当機構ホームページ→入札・契約情報→入札心得・契約関係規程→入札関連様式及び標準契約書等→当機構で使用する標準契約書等（改正）を参照）により、契約書を作成するものとする。

## 18 支払い条件

支払いは、完成払とする。（予定）

## 19 関連情報を入手するための照会窓口

上記6に同じ。

## 20 その他

- (1) 入札参加者は、入札心得書（当機構ホームページ→入札・契約情報→入札心得・契約関係規程→入札関連様式及び標準契約書等→入札（見積）関連様式についてを参照）及び上記17の契約書を熟読し、入札心得を遵守すること。
- (2) 申請書及び資料に虚偽の記載をした場合においては、申請書及び資料を無効とするとともに、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。
- (3) 落札者は、申請書及び資料に記載した予定管理技術者を当該業務に配置すること。また、申請書及び資料に記載した予定管理技術者は、原則として変更できない。ただし、退職、病休及び死亡等のやむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者であることについて発注者の了解を得なければならない。
- (4) 管理技術者は現場代理人を兼任することができるものとする。
- (5) 本件業務は、業務成績評定対象業務として、受注者に対して、業務完了後、業務成績評定点を通知する。付与した業務成績評定点は、将来、業務発注時に価格以外の評価項目として使用することがあり、業務成績評定点が60点未満だった場合には、一定期間、企業の業務実績として点数を与えないことがある。
- (6) 受注者が、申請書及び資料（実施方針、技術提案等）に記載した内容を履行しなかった場合は、業務成績評定点に反映することがある。
- (7) 落札者（下請負等をさせる場合は下請負人等を含む。）は、重要な情報及び個人情報の取扱いに関して、個人情報保護法等に基づく、適切な管理能力を有していること。また、「個人情報等の保護に関する特約条項」（当機構ホームページ→入札・契約情報→入札心得・契約関係規程→入札関連様式及び標準契約書等→当機構で使用する標準契約書等を参照）を上記17の契約書と併せて、同日付で締結するものとする。下請負等をさせる場合は、落札者は下請負人等に対しても同等の措置をとらなければならない。
- (8) 本件業務の実施については、関係法令等を遵守すること。
- (9) 独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）において、独立行政法人と一定の関係性を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところです。

これに基づき、以下のとおり、当機構との関係に係る情報を当機構のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

また、応札若しくは応募又は契約の締結を行ったにもかかわらず情報提供

等の協力をしていただけない相手方については、その名称等を公表させていただきますことがあり得ますので、ご了承ください。

① 公表の対象となる契約先

次のいずれにも該当する契約先

- イ 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること
- ロ 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等として再就職していること

② 公表する情報

上記に該当する契約先について、契約ごとに、工事、業務又は物品購入等契約の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。

- イ 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
- ロ 当機構との間の取引高
- ハ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
  - 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ニ 1者応札又は1者応募である場合はその旨

③ 当方に提供していただく情報

- イ 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ロ 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

④ 公表日

契約締結日の翌日から起算して72日以内

以 上

競争参加資格確認申請書

年 月 日

独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部

本部長 田中 伸和 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

平成 29 年 5 月 10 日付で公告のありました「平成 29 年度東日本都市再生本部に係る不動産市場動向等調査業務」に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、本件契約を締結する能力を有しない者又は破産者で復権を得ていない者でないこと及び添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札説明書 7 (3)①に定める登録状況を記載した書面
- 2 入札説明書 7 (3)②に定める企業の経験及び能力を記載した書面
- 3 入札説明書 7 (3)③に定める予定管理技術者の経験及び能力を記載した書面
- 4 入札説明書 7 (3)④に定める実施方針を記載した書面
- 5 入札説明書 7 (3)⑤に定める評価テーマに関する技術提案を記載した書面
- 6 入札説明書 7 (3)⑥に定める契約書（仕様書を含む）の写し

注) なお、返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた所定の料金（392円）の切手を貼った長 3 号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

(様式-2)

企業の平成19年度以降に受注し完了した業務実績

会社名) ○○○○

業務分類	
業務名	
TECRIS 登録番号	
契約金額	
履行期間	
発注機関名 住所 TEL	
業務の概要	
業務の技術的特徴	

注1：業務分類には、入札説明書4(2)に記述のあるA（オフィス）、A（分譲マンション）、Bいずれかの業務を記載する。

注2：記入に際しては1件あたり本様式1枚とし、記載した業務に係る契約書（仕様書を含む）の写し等を添付すること。なお、下請による業務の実績については、当該業務がA（オフィス又は分譲マンション）又はBの業務と判断できる根拠資料も併せて提出すること。

予定管理技術者の経歴等

①氏名	
②所属・役職	(入社年月日： 年 月 日)
③保有資格	
・ 不動産鑑定士	(登録番号： 取得年月日： )
・	(登録番号： 取得年月日： )
・	(登録番号： 取得年月日： )
※不動産鑑定士登録通知書又は不動産鑑定士登録証明書を添付	
※別途履歴書を添付	

## 予定管理技術者の平成 19 年度以降に受注し完了した業務実績

業務分類	
業務名	
TECRIS 登録番号	
契約金額	
履行期間	
発注機関名 住所 TEL	
業務の概要	(〇〇技術者として従事)
業務の技術的特徴	
当該技術者の業務 担当の内容	

注 1：業務分類には、入札説明書 4 (2) に記述のある A (オフィス)、A (分譲マンション)、B いずれかの業務を記載する。

注 2：業務の概要及び業務の技術的特徴については、具体的に記載すること。

注 3：〇〇技術者とは、「管理」「担当」のいずれかを記載すること。

注 4：記入に際しては 1 件あたり本様式 1 枚とし、記載した業務等に係る契約書（仕様書を含む）の写し等を添付すること。なお、下請、出向又は派遣による業務の実績については、当該業務が A (オフィス又は分譲マンション) 又は B の業務と判断できる根拠資料も併せて提出すること。



実施方針

業務の実施方針（業務理解度）

実施体制図

注 1：実施体制図には、予定管理技術者、予定業務責任者及び予定担当技術者の想定される業務経験等（例：調査・検討業務に係る業務経験、業務実施に資する取得資格等）を加味し作成すること。文字サイズは10ポイント以上とする。

注 2：記載にあたっては、A4判1枚に記載すること。なお、2枚以上で提出した場合は評価しない（加点しない）ものとする。

(様式-5-2)

予定担当技術者の資格、業務経験等

No	保有資格	業務経験等

注1：様式-5に記載する実施体制図の補足資料として、作成すること。

評価テーマに関する技術提案

評価テーマ：

不動産市場の分析、将来予測等を実施するに当たり、マクロ・ミクロ的観点から留意すべき事項と、用いるデータ、調査手法（データ収集方法を含む）を提案してください。

注 1：評価テーマに対する業務の実施に係る提案として、その取組み方法を具体的に記載すること。文字サイズは10ポイント以上とする。

注 2：記載にあたっては、1テーマ、A4判1枚に記載すること。なお、2枚以上で提出した場合は評価しない（加点しない）ものとする。